

(8枚のうち1)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

① 教育関係法規に関して、次の1～3に答えなさい。

- 1 次の(1)・(2)は、日本国憲法及び教育基本法の条文の一部です。空欄(a)～(c)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しいものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えなさい。aは解答番号1、bは解答番号2、cは解答番号3の解答欄にそれぞれマークしなさい。

(1) 日本国憲法第26条

すべて国民は、法律の定めるところにより、その能力に応じて、ひとしく教育を受ける(a)を有する。

二 すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に(b)を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

(2) 教育基本法第2条

教育は、その目的を実現するため、学問の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

四 生命を尊び、自然を大切にし、環境の(c)に寄与する態度を養うこと。

- | | | | | | |
|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| a | ① 責任 | ② 権利 | ③ 機会 | ④ 自由 | ⑤ 学籍 |
| b | ① 一般教育 | ② 普通教育 | ③ 義務教育 | ④ 基礎教育 | ⑤ 教科教育 |
| c | ① 保全 | ② 保護 | ③ 改善 | ④ 向上 | ⑤ 発展 |

- 2 次の(1)・(2)は、地方公務員法及び教育公務員特例法の条文の一部です。空欄(a)～(f)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号4の解答欄にマークしなさい。

(1) 地方公務員法第30条

すべて職員は、全体の奉仕者として(a)のために勤務し、且つ、職務の遂行に当つては、全力を挙げてこれに(b)しなければならない。

(2) 教育公務員特例法第23条

公立の小学校等の教諭等の(c)は、当該教諭等(臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。)に対して、その採用(現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。)の日から(d)の教諭又は保育教諭の(e)の遂行に必要な事項に関する実践的な研修(次項において「(f)」という。)を実施しなければならない。

- | | | | | | | |
|---|-----------|--------|-----------|---------|--------|------------|
| ① | a : 市民全体 | b : 集中 | c : 研修実施者 | d : 一年間 | e : 指導 | f : 初任者研修 |
| ② | a : 市民全体 | b : 集中 | c : 指導教員 | d : 三年間 | e : 職務 | f : 初任者研修 |
| ③ | a : 公共の利益 | b : 専念 | c : 指導教員 | d : 一年間 | e : 指導 | f : 指導改善研修 |
| ④ | a : 市民全体 | b : 専念 | c : 研修実施者 | d : 三年間 | e : 職務 | f : 指導改善研修 |
| ⑤ | a : 公共の利益 | b : 集中 | c : 指導教員 | d : 三年間 | e : 指導 | f : 指導改善研修 |
| ⑥ | a : 公共の利益 | b : 専念 | c : 研修実施者 | d : 一年間 | e : 職務 | f : 初任者研修 |

(8枚のうち2)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 3 次の条文は、こども基本法の一部です。空欄 (a) ~ (c) にあてはまる言葉は何ですか。下の①~⑤の中から、正しいものをそれぞれ1つずつ選び、その記号を答えなさい。aは解答番号5、bは解答番号6、cは解答番号7の解答欄にそれぞれマークしなさい。

第1条

この法律は、日本国憲法及び (a) の精神にのっとり、次代の社会を担う全てのこどもが、生涯にわたる人格形成の基礎を築き、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができ、心身の状況、置かれている環境等にかかわらず、その (b) が図られ、将来にわたって (c) 生活を送ることができる社会の実現を目指して、社会全体としてこども施策に取り組むことができるよう、こども施策に関し、基本理念を定め、国の責務等を明らかにし、及びこども施策の基本となる事項を定めるとともに、こども政策推進会議を設置すること等により、こども施策を総合的に推進することを目的とする。

- | | | | |
|---|---------------|-----------|------------|
| a | ① 児童の権利に関する条約 | ② 教育基本法 | ③ 児童福祉法 |
| | ④ 児童憲章 | ⑤ 民法 | |
| b | ① 人権の尊重 | ② 生活環境の向上 | ③ 教育の機会の提供 |
| | ④ 安全の確保 | ⑤ 権利の擁護 | |
| c | ① 豊かな | ② 安全な | ③ 最低水準の |
| | ④ 幸福な | ⑤ 個に応じた | |

(8枚のうち3)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- ② 学習指導要領に関して、次の1～3に答えなさい。なお、以下の設問は、平成29年3月告示の中学校学習指導要領、平成30年3月告示の高等学校学習指導要領、平成29年4月告示の特別支援学校小学部・中学部学習指導要領、平成31年2月告示の特別支援学校高等部学習指導要領から出題されています。また、設問中の文章は中学校学習指導要領を基本にしています。特に注意書きがない場合、文中に「生徒」とあるのは、特別支援学校小学部・中学部では「児童又は生徒」に、「学級」とあるのは、高等学校及び特別支援学校高等部では「ホームルーム」に、「各教科等」とあるのは、高等学校では「各教科・科目等」に、特別支援学校高等部では「各教科・科目等または各教科等」に、「総合的な学習の時間」とあるのは、高等学校及び特別支援学校高等部は「総合的な探究の時間」に、「中学校」とあるのは、それぞれの学校種に読み替えなさい。

- 1 次の文は、学習指導要領 総則 中学校教育の基本と教育課程の役割 の一部です。空欄 (a) にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号8の解答欄にマークしなさい。

道徳教育や (a)、多様な表現や鑑賞の活動等を通して、豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

- ① 生徒会活動 ② 体験活動 ③ 奉仕活動 ④ 部活動 ⑤ 課外活動

- 2 次の文は、学習指導要領 総則 教育課程の実施と学習評価 1 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 の一部です。空欄 (a) ～ (c) にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号9の解答欄にマークしなさい。

各教科等において身に付けた知識及び技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や (a)、人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方 (以下「見方・考え方」という。) が鍛えられていくことに留意し、生徒が各教科等の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、(b) を基に創造したりすることに向かう (c) を重視した学習の充実に努めること。

- ① a : 学びに向かう力 b : 思いや考え c : 意欲
 ② a : 学びに向かう力 b : 独自の発想 c : 意欲
 ③ a : 学びに向かう力 b : 思いや考え c : 過程
 ④ a : 生きる力 b : 独自の発想 c : 意欲
 ⑤ a : 生きる力 b : 独自の発想 c : 過程
 ⑥ a : 生きる力 b : 思いや考え c : 過程

(8枚のうち4)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

- 3 次の文章は、中学校学習指導要領 総合的な学習の時間 指導計画の作成と内容の取扱い の一部です。下線部の内容に誤りがあるものはどれですか。下の①～④の中から、誤りがあるものを1つ選び、その記号を答えなさい。なお、文中に「異年齢集団による学習」とあるのは、高等学校では「個人研究」に読み替えなさい。解答番号10の解答欄にマークしなさい。

グループ学習や異年齢集団による学習などの多様な学習形態、家庭の協力も得つつ、全教師が一体となって指導に当たるなどの指導体制について工夫を行うこと。

学校図書館の活用、他の学校との連携、公民館、図書館、博物館等の社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携、地域の教材や学習環境の積極的な活用などの工夫を行うこと。

- ① 家庭
 ② 全教師
 ③ 他の学校との連携
 ④ 地域の教材

(8枚のうち5)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

3 教育心理学・教育原理に関して、次の1・2に答えなさい。

1 次の文章は、エリクソンの発達理論に関するものです。空欄 (a) ~ (c) にあてはまる言葉は何ですか。下の①~⑤の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号11の解答欄にマークしなさい。

エリクソンは、人生を8つの段階に分け、それぞれに発達課題を見出した (a) を提唱した。その理論の中で、青年期の発達課題として、自分は何者であり、何をなすべきかという個人の心の中で保持される概念である (b) の確立が取り上げられている。また、エリクソンは、役割実験のために最終的な生き方の傾倒の延期を認められた見習い期間である青年期を表す表現として、(c) という用語を使用した。

- | | | |
|----------------|--------------|------------|
| ① a : ライフサイクル論 | b : 統合 | c : モラトリアム |
| ② a : レジリエンス | b : アイデンティティ | c : モラトリアム |
| ③ a : ライフサイクル論 | b : アイデンティティ | c : モラトリアム |
| ④ a : レジリエンス | b : 統合 | c : エディプス期 |
| ⑤ a : ライフサイクル論 | b : アイデンティティ | c : エディプス期 |

2 次の①~④は、学習方法について述べた文です。内容に誤りがあるものはどれですか。次の①~④の中から、誤りがあるものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号12の解答欄にマークしなさい。

- ① 発見学習とは、教師が習得すべき原理・原則を直接教えるのではなく、学習者が自らそれを発見し、習得することを目指す学習方法である。
- ② 完全習得学習とは、診断的評価、形成的評価、総括的な評価によって全学習過程を点検、コントロールし、十分な時間と適切な支援を与えることで、学級の95%の子どもが完全に習得することを目指す学習方法である。
- ③ プログラム学習とは、学習内容を細かいステップに分けて、一人ひとりの学習者が各ステップを順番にクリアしていくことで目標の達成を目指す学習方法である。
- ④ 問題解決学習とは、教師が与えた学習課題に対して学習者が受動的に取り組むことで効率よく学習を進め、問題の解決を目指す学習方法である。

(8枚のうち6)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

4 特別支援教育に関して、次の1・2に答えなさい。

- 1 次の条文は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律の一部です。空欄（ a ）にあてはまる言葉は何ですか。下の①～④の中から、正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号13の解答欄にマークしなさい。

第1条

この法律は、障害者基本法（昭和四十五年法律第八十四号）の基本的な理念にのっとり、全ての障害者が、障害者でない者と等しく、基本的人権を享有する個人としてその尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有することを踏まえ、障害を理由とする差別の解消の推進に関する基本的な事項、行政機関等及び事業者における障害を理由とする差別を解消するための措置等を定めることにより、障害を理由とする差別の解消を推進し、もって全ての国民が、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら（ a ）社会の実現に資することを目的とする。

- ① 共生する ② 共存する ③ 協力する ④ 生活する

- 2 次の文章は、令和3年1月26日に中央教育審議会から示された『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～の答申の 第Ⅱ部 各論 4.新時代の特別支援教育の在り方について（3）特別支援教育を担う教師の専門性向上 の一部です。空欄（ a ）・（ b ）にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号14の解答欄にマークしなさい。

全ての教師には、（中略）障害のある人や子供との触れ合いを通して、障害者が日常生活又は社会生活において受ける制限は障害により起因するものだけでなく、社会における様々な障壁と相対することによって生ずるものという考え方、いわゆる「社会モデル」の考え方を踏まえ、障害による（ a ）について本人の立場に立って捉え、それに対する必要な支援の内容と一緒に考えていくような経験や態度の育成が求められる。また、こうした経験や態度を、多様な教育的ニーズのある子供がいることを前提とした（ b ）・授業づくりに生かしていくことが必要である。

- ① a：仲間外れの疎外感 b：組織づくり
 ② a：仲間外れの疎外感 b：学級経営
 ③ a：日常生活における不安 b：組織づくり
 ④ a：日常生活における不安 b：学級経営
 ⑤ a：学習上又は生活上の困難 b：組織づくり
 ⑥ a：学習上又は生活上の困難 b：学級経営

(8枚のうち7)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

5 学校保健に関して、次の1・2に答えなさい。

1 次の条文は、学校保健安全法の一部です。空欄（ a ）にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号15の解答欄にマークしなさい。

第10条

学校においては、救急処置、健康相談又は（ a ）を行うに当たっては、必要に応じ、当該学校の所在する地域の医療機関その他の関係機関との連携を図るよう努めるものとする。

① 健康観察 ② 保健指導 ③ 安全教育 ④ 環境衛生検査 ⑤ 治療

2 次の条文は、学校保健安全法施行規則の一部です。空欄（ a ）・（ b ）にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑥の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号16の解答欄にマークしなさい。

第8条

学校においては、法第十三条第一項の健康診断を行ったときは、児童生徒等の（ a ）を作成しなければならない。

第9条

学校においては、法第十三条第一項の健康診断を行ったときは、二十一日以内にその結果を幼児、児童又は生徒にあつては当該幼児、児童又は生徒及びその（ b ）（中略）に、学生にあつては当該学生に通知するとともに、次の各号に定める基準により、法第十四条の措置をとらなければならない。

① a : 健康診断票 b : 学校の設置者
 ② a : 指導要録 b : 学校医
 ③ a : 健康診断票 b : 保護者
 ④ a : 指導要録 b : 保護者
 ⑤ a : 通知表 b : 学校医
 ⑥ a : 通知表 b : 学校の設置者

(8枚のうち8)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

6 生徒指導に関して、次の1～3に答えなさい。

1 次の文章は、令和4年12月に文部科学省から示された「生徒指導提要」の第1章 生徒指導の基礎 1.1生徒指導の意義 1.1.1生徒指導の定義と目的 (2)生徒指導の目的 の一部です。空欄(a)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～⑤の中から、正しいものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号17の解答欄にマークしなさい。

児童生徒は、学校生活における多様な他者との関わり合いや学び合いの経験を通して、学ぶこと、生きること、働くことなどの価値や課題を見いだしていきます。その過程において、自らの生き方や人生の目標が徐々に明確になります。学校から学校への移行、学校から社会への移行においても、主体的な選択・決定を促す(a)が重要です。

- ① 自尊感情 ② 自己指導能力 ③ 動機付け ④ 自己有能感 ⑤ 非認知能力

2 次の文章は、令和4年12月に文部科学省から示された「生徒指導提要」の第3章 チーム学校による生徒指導体制 3.6生徒指導に関する法制度等の運用体制 3.6.1校則の運用・見直し (1)校則の意義・位置付け の一部です。下線部の内容に誤りがあるものはどれですか。下の①～④の中から、誤りがあるものを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号18の解答欄にマークしなさい。

校則の在り方は、特に法令上は規定されていないものの、これまでの判例では、社会通念上合理的と認められる範囲において、教育目標の実現という観点から校長が定めるものとされています。また、学校教育において社会規範の遵守について適切な指導を行うことは重要であり、学校の教育目標に照らして定められる校則は、教育的意義を有するものと考えられます。

校則の制定に当たっては、多数派の意見を優先しつつ、児童生徒個人の能力や自主性を伸ばすものとなるように配慮することも必要です(略)。

- ① 社会通念上合理的
② 校長
③ 教育的意義を有するもの
④ 多数派の意見を優先

3 次の文章は、平成29年3月31日に文部科学省から示された「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針」の1. 教育機会の確保等に関する基本的事項 (3) 基本的な考え方 の一部です。空欄(a)・(b)にあてはまる言葉は何ですか。下の①～④の中から、正しい組合せを1つ選び、その記号を答えなさい。解答番号19の解答欄にマークしなさい。

まず、全ての児童生徒にとって、(a)より良い学校づくりを目指すとともに、いじめ、暴力行為、体罰等を許さないなど安心して教育を受けられる学校づくりを推進することが重要である。

不登校は、取り巻く環境によっては、どの児童生徒にも起こり得るものとして捉え、不登校というだけで問題行動であると受け取られないよう配慮し、児童生徒の(b)を最優先に支援を行うことが重要である。

- ① a : 安心できる b : 教育機会の確保
② a : 意思が尊重される b : 教育機会の確保
③ a : 魅力ある b : 教育機会の確保
④ a : 安心できる b : 最善の利益
⑤ a : 魅力ある b : 最善の利益

⑦ 教職に関する専門教育科目 中学校・高等学校 解答用紙

氏 名

--

受 験 番 号					
十	万	千	百	十	一
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

〔記入上の注意〕

1. 余白には何も記入しないでください。
2. HBまたはBの黒鉛筆で該当する○にマークしてください。
 マーク例 (良い例) ●
 (悪い例) ~~○~~ ~~○~~ ~~○~~
3. 訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。
4. 受験番号については、6桁の数字を記入したうえで、該当する○にマークしてください。

解答番号	解 答 欄									
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
14	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
15	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
17	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
18	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
20	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
21	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
22	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
23	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
25	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

1
2
3
4
5
6

